

北九州市立大学 地域戦略研究所 NewsLetter

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/

地域中小企業の海外展開を支援しています

人口減少に伴い、国内市場の縮小が危惧される中、地域中小企業においては、海外とくに成長著しい東南アジアに新たな市場を開拓することが期待されています。そこで地域戦略研究所では、地域貢献の一環として中小企業の海外展開を支援しています。

2016年9月と12月に、カンボジア・プノンペン市とベトナム・ハイフォン市で、中古機械及び金属スクラップの市場調査と商談会を行ってきました。→以降、p.3「トピックス」欄に続く [吉村英俊教授]

企業との個別商談の様子（左端が吉村教授）→



深谷准教授が「守屋研究奨励賞」受賞

深谷裕准教授が第3回守屋研究奨励賞を受賞しました。受賞作品は、『加害者家族のライフストーリー：日常性の喪失と再構築』（法律文化社、2016）です。

同賞は、長年にわたり刑事裁判や少年審判に携わった元裁判官の守屋克彦氏が資金を提供して創設したNPO法人「刑事司法及び少年司法に関する教育・学術研究推進センター」（略称「刑事・少年司法研究センター」(ERCJ)）が、若手研究者などの刑事司法、少年司法に関する研究活動、出版活動を奨励・助成することを目的として設けられた賞です。

[深谷裕准教授]

受賞盾（写真左）と受賞作品→



北九州市立大学創立70周年記念公開講座

「北九州スタジアム&ギラヴァンツ北九州とまちづくり」開催

本学は毎年、市民向け公開講座を開講しています。本年は13講座が開講され、うち「北九州市立大学創立70周年記念公開講座」と冠した5講座の一つとして、南教授がコーディネートする「北九州スタジアム&ギラヴァンツ北九州とまちづくり」が選ばれました。

講座は2016年10~11月の3日間、北九州スタジアム建設現場見学などのフィールドワークを中心に行われ、約30人の市民等が参加し、受講者アンケートでは高い満足度を得ました。 [南博教授]

日時	テーマ	主な講義会場
10/29 (土) 13:00~14:30	ギラヴァンツ北九州の社会的・経済的効果	北九州市立大学 小倉サテライトキャンパス
11/6 (日) 11:50~16:00	ギラヴァンツ北九州の試合を楽しもう！ ※ギラヴァンツ北九州・下田本部長による試合解説あり	北九州市立本城陸上競技場 (八幡西区)
11/9 (土) 13:00~16:00	北九州スタジアムを活かしたまちづくり ※北九州市建築都市局課長・係長による解説あり	北九州スタジアム建設現場 (小倉北区)



北九州スタジアム建設現場見学に向かう
受講者の皆さん

地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録

【2016年10月～12月】

韓国のテレビ局UBCによる「北九州市の産業政策」に関する取材対応 [南博教授]

韓国のテレビ局 UBC で 2016 年 12 月 20 日に放送された特集番組「祭りと都市 <第 2 部 産業都市の転換>」（1 時間番組）において、工業都市の蔚山広域市（韓国）が目指すべき先進事例として北九州市が取り上げられ、地域戦略研究所の南教授がインタビューに応じました。

南教授は、大学研究室および北九州ポップカルチャーフェスティバル 2016 会場で取材に応じ、北九州市の観光政策の方向性や、様々なイベントを市街地で開催する意義等について解説しました。



韓国 UBC によるインタビュー [南]

その他の主な活動記録 ※各項目ごとに原則として主担当教員等（[] 表記）の五十音順に列挙

■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等（抜粋）

- 北九州ポップカルチャーフェスティバル 2016 来場者調査（11/5～6：西日本総合展示場新館）[南]
- 産業人材育成にかかわる協議、中古機械等の市場調査・商談会、ベトナム企業の経営・技術指導（12/18～12/24：カンボジア・プノンペン、ベトナム・ハイフォン）[吉村] ※p.1およびp.3ご参照

■講演等

- JICA 研修「持続的な都市開発のための都市経営」コース（10/18, 11/8：JICA 九州）[内田]
- 地域課題解決全国フォーラム in 庄内 2016（12/3：東北公益文科大学）[内田]
- 平成 28 年度八幡西市民アカデミー事業「かがやき塾」（12/9：八幡西生涯学習総合センター）[内田]
- フットパス in 大川・講演会（12/15：大川市）[内田]
- 北九州市立大学公開講座「<北九州市立大学創立 70 周年記念> 北九州スタジアム&ギラヴァンツ北九州とまちづくり」（10/29, 11/6, 11/19）[南] ※p.1ご参照
- 日本防火・危機管理促進協会「平成 28 年度第 4 回：地方公共団体の危機管理に関する研究会」（11/10：東京都）[南]
- 副都心黒崎開発推進会議「地域づくりマネージャー養成塾」（10/15, 29, 11/19, 12/9）[宮下]
- テクノミクス北九州「ベトナムの産業人材の現状と展望」（10/5）[吉村]
- 北九州・ハイフォン中小企業経営者交流事業「北九州市とハイフォン市の企業交流に期待すること」（10/11）[吉村]
- 北九州市立年長者研修大学校周望学舎「ベトナム事情」（10/13）[吉村]
- ロボット・IoT・AI 等を活用した生産性向上研究会「本市中小企業の展望」（12/26）[吉村]



北九州ポップカルチャーフェスティバル 2016 来場者調査（受託研究）[南]



平成 28 年度八幡西市民アカデミー事業「かがやき塾」での講演 [内田]

■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会（開催された主なものを抜粋）

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| ○遠賀川学識懇談会（国土交通省遠賀川河川事務所）[柳井] | ○コンパクトなまちづくり専門小委員会（座長）[柳井] |
| ○北九州市都市計画審議会（座長）[柳井] | ○北九州市公共事業評価に関する検討会議（座長）[柳井] |
| ○北九州市都市計画審議会 [内田] | ○北九州市公共施設マネジメントモデルプロジェクト推進懇話会（座長）[内田] |
| ○北九州市特定空家等対策審査会 [内田] | ○直方市都市計画審議会 [内田] |
| ○宮若市総合計画審議会（会長）[内田] | ○大牟田市中心市街地活性化施設誘導研究会 [内田] |
| ○中間市地域公共交通協議会 [内田] | ○芦屋町地域公共交通協議会 [内田] |
| ○久山町行政評価外部評価委員（委員長）[内田] | ○みやこ町都市計画審議会（委員長）[内田] |
| ○遠賀町産業推進委員会 [内田] | ○ふくおか地域づくり活動賞審査委員会（委員長）[内田] |
| ○北部九州圏都市交通計画協議会専門部会（副委員長）[内田] | ○田川広域連携プロジェクト推進会議 [内田] |
| ○福岡県行政改革審議会 [南] | ○関門地域連携推進協議会 [南] |
| ○北九州地域連携懇談会プロモーション部会 [南] | ○「北九州スタジアム」ネーミングライツ選定委員会 [南] |
| ○宗像市立小中学校適正化検討委員会 [南] | ○第 4 次古賀市総合振興計画後期基本計画検討会議（副委員長）[南] |
| ○荻田町財政健全化検討会議（座長代理）[南] | ○日田市公共施設等総合管理計画策定検討委員会（委員長）[南] |
| ○水巻町公共施設総合管理計画審議会（会長）[宮下] | ○芦屋町公共施設等総合管理計画策定委員会（会長）[宮下] |

(続き)

■報道

- TVQ、2016年10月3日、『ハロー！ふくおか県』「未知の小径を歩こう～なかもつパス～」[内田]
- FM KITAQ、2016年10月10日、『FORZA KITAQ』「北九州市立大学公開講座について」[南]
- 毎日新聞、2016年10月30日、北九州面「ギラヴァンツの展望は？」[南]
- 韓国テレビ局 UBC (蔚山放送)、2016年12月20日、「축제와 도시 <2부 산업도시의 반전> (祭りと都市 <第2部 産業都市の転換>)」[南] ※p.2ご参照
- 西日本新聞、2016年12月22日、北九州面「進め！ギラヴァンツ北九州 新たなファンどう増やす」[南]
- ビジネス+IT (2016年12月13日)、「平成の大合併は『大失敗』か、今も続く借金返済と商店街解散の悲劇」[宮下]

トピックス ※p.1 記事関連

地域中小企業の海外展開を支援しています

教授 吉村 英俊 (中小企業診断士)

(→p.1 冒頭からの続き) 日本製の機械は中古品であっても性能がよく、スクラップは品質がよいため、人気があります。またこの事業はリユース・リサイクルの視点からも大変意義があると考えています。現地の企業の方々とお話しする中で、強い関心があることを実感し、引き続き成約に向けて商談を続けていくことになりました。とても楽しみです。

一般的に中小企業はやる気はあっても、人材や経験が十分でないため、二の足を踏んでしまっているのが実状です。またとくに最初の地ならしの段階では、相手国の公的機関の力が必要ですが、実績や信用力がいないため、なかなか突破口を開くことができません。こういった状況にあって、当研究所では経験 (know-how, know-who)、知識、信用力を武器に、中小企業者と一体となって事業を進めています。

さらに国内外に係らず、ビジネスは一朝一夕にできるものではなく、双方の信頼関係の形成 (野菜の栽培でいえば、肥えた土をつくること) が何よりも重要です。これは時間が掛かるものであり、ベトナム・ハイフォン市では7年を要しました。当地を訪問した際には、積極的に企業を訪問して、経営や技術に関するできる限りのアドバイスをするようにしています。右上の写真はハイフォンの仲間たちと食事をしたときのものです。彼らとは仕事の関係を超え、友人として深い絆で結ばれています。カンボジア・プノンペン市における経済産業分野の取り組みは始まったばかりですが、丁寧にじっくりと信頼関係 (肥えた土) を育てていきたいと思えます。



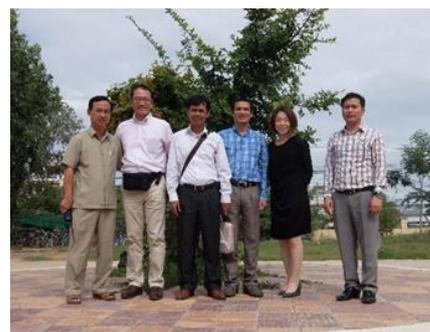
昼食会の様子 (左から3番目が吉村教授)



ハイフォンの友人たち
(右から3番目が吉村教授)



商談会の様子 (中央が吉村教授)



プノンペンの友人たち
(左から2番目が吉村教授)

しごと ZINE プロジェクト活動報告会を開催（COC+事業）

本学が代表校となって展開している COC+事業（北九州・下関まなびとぴあ）の一環である「しごと ZINE プロジェクト」は、北九州・下関地域の企業の魅力発信マガジン『しごと ZINE』を、学生自ら制作し、発行する複数大学合同のプロジェクトです。

2016年7月末から12月末までの約5か月間にわたり、小倉駅ビルに開設した「まなびと JOB ステーション」で活動し、その集大成として、12月23日（金・祝）に小倉昭和館にて活動報告会を開催し、活動概要および活動を通して学び、成長したことについて、学生自ら発表しました。審査員から「どのチームも成長を感じられ、素晴らしかったので、点数の差をつけられなかった」とのコメントが出る中、下関海陸運送株式会社様取材したチームが最優秀チームに輝きました。また、来場者アンケートでは、学生の成長につながったということに加え、シビックプライド醸成や域内就職・定着促進においても成果があるという評価が得られました。

5か月間の活動は終了しましたが、学生たちが制作した『しごと ZINE』は、まなびと JOB ステーション（アミュプラザ小倉西館8階）にて配布しているほか、北九州・下関まなびとぴあの参加校、北九州・下関市内のコンビニや飲食店の一部にも設置させて頂いています。ぜひ、手にとってご覧ください。

北九州・下関地域の企業の魅力発信マガジン『しごと ZINE』
で学生が取材・紹介させていただいた企業等一覧（敬称略）

企業名等	キャッチコピー
昭電テックス株式会社	地域の人々のより良い生活の為に 努力と変革を続ける
株式会社デンヒチ	「若手×挑戦」新しい発想を生む 創業134年の歴史がもたらす魅力
株式会社ギラヴァンツ北九州	これからの勝負 前進し続けるギラヴァンツ北九州
株式会社千草 千草ホテル	お客様の期待を、超えていく。
株式会社ソルネット	お客様、地域、そして社員が 一体となって作り上げていく企業に
環境テクノス株式会社	地域の明日を考える 北九州オンリーワン企業。
特定非営利活動法人 タウンモービルネットワーク北九州	「自転車乗りませんか？」 柔軟な発想が生んだ新しい事業が、北九州に。
株式会社ハローデイ	自分のやりたいことを やりたいように表現できる場
株式会社植田製作所	国内シェアトップの座を長年維持する秘訣
前田機工株式会社	日本のものづくりを応援します！
下関海陸運送株式会社	グローバル・ロジスティクス・パートナー 世界と地域に根ざした物流会社



活動報告会の様子（小倉昭和館（映画館）で開催）



北九州・下関地域の企業の魅力発信マガジン
『しごと ZINE』

COC+事業を契機とした“地域科目”「地域の文化と歴史」「地域の社会と経済」 順調に開講中

前号でもお伝えしたとおり、北九州市立大学では、COC+事業の実施を契機とし、教養教育科目として新たに“地域科目”を選択必修科目として2016年度から2授業開講し、2017年度以降に新たに4授業を開講することとなっており、いずれの授業も地域戦略研究所が提供します。

2016年2学期に開講している「地域の文化と歴史」（履修者476名、担当：南教授）と「地域の社会と経済」（履修者358名、担当：宮下准教授）については、いずれも北九州・下関地域の各トピックに詳しいゲストスピーカーを招聘するなど、順調に進んでいます。



「地域の文化と歴史」における、北九州市立松本清張記念館学芸員の小野芳美様ご担当の様子（12月9日）